

歩行器装着用点滴スタンド“てんてく棒”の開発

～鬼に金棒、歩行器にてんてく棒。～

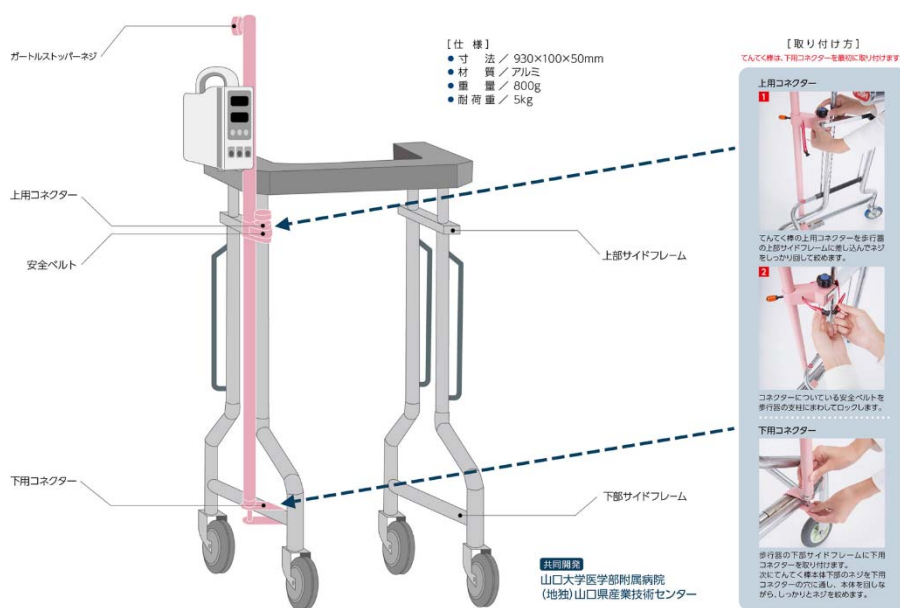
■支援の概要

山口県内主要病院に対して実施した医療現場ニーズ調査から、歩行器に容易に装着出来る点滴スタンドのニーズが提案されました。そこで、山口大学医学部附属病院の指導と臨床評価の下で、高い金属加工技術を有する株式会社伸和精工が、山口県産業技術センターの技術支援を受けて開発・製品化しました。

■支援の項目

- ①医療現場ニーズ調査、開発テーマとのマッチング支援
- ②歩行器に装着した場合の転倒リスクの試験方法についてJIS規格試験の調査
- ③医療機器に準じる品質管理方法・リスク分析方法・添付文書作成支援
- ④製品の展示会出展、販売ルート開拓の支援

鬼に金棒、歩行器にてんてく棒。



協力機関：
山口大学医学部附属病院
山口大学産学連携推進機構

■支援の成果

医療現場のニーズを反映し、従来無かった製品の開発に成功しました。

- ①歩行器への装着による歩行器のJIS規格(T9265)を逸脱しない点滴スタンド。
- ②患者様の安全とQOL向上、看護職員の負担低減に寄与する点滴スタンド。
- ③医療機器に準ずるリスク分析により、製造物責任に考慮した点滴スタンド。

担当職員 イノベーション推進センター医療関連推進チーム
安田研一、宮川英二

支援企業：株式会社伸和精工（宇部市）
山口大学医学部附属病院整形外科